

2018年6月8日

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

中井新会長のごあいさつ

本日の第21期定時総会で、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会の会長に選任されました日清食品ホールディングス(株)の中井敏雄でございます。皆様よろしくお願ひ致します。

さて、容リ制度とプラ容器包装を取りまく状況は、再商品化委託料が2年連続して高騰したことをはじめ、2021年度に予定されている容リ制度の3回目の見直しなど、特定事業者に対しては、大きな影響が予測され、予断を許さない情勢にある中で、本日、会長に就任致しました。緊張しておりますが、会員の皆様のご協力を得て、職務に努めて参る所存です。

2018年度の落札の結果、特定事業者が支払うプラスチック容器包装の再商品化委託料が増加しました。これは、評価・検討報告書に示されている社会全体のコスト低減に反しているだけでなく、最終的には消費者の負担増に繋がることから、当協議会として、先月末に、経済産業省、環境省に、2019年度の入札に対する要望書を提出致しました。これからも入札制度の見直しに向けて、材料リサイクル優先の見直しなどに取り組んでまいります。

今後は、2021年度の見直しに向けて、プラ容器包装のリサイクルなど容リ制度における諸課題について、会員の皆様と意見を交わしながら、力を合わせて今後想定される諸課題に対応し、かつ未来に対してどのように対応するのか考えて行きたいと思ひます。皆様方のご協力をよろしくお願ひ致します。

特定事業者を主たる会員とする当協議会の活動を、さらにパワーアップさせていくために、会員の皆様からのご支援をいただき、新規の会員の加入促進を進めたいと思ひます。ご協力をお願ひ致します。

容リ制度やプラ容器包装のリサイクル、3Rに関する諸課題が山積しております。今後、経済産業省、環境省、農林水産省などの関係省庁や、容リ協会をはじめとする関係諸機関、さらには会員団体、企業各位の力をお借りして取り組んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

以上